

地 基 補 第 2 6 1 号
令 和 3 年 9 月 1 5 日

地方公務員災害補償基金
各 支 部 事 務 長 殿

地方公務員災害補償基金補償課長

「心・血管疾患及び脳血管疾患の公務上の災害の認定について」
の実施及び公務起因性の判断のための調査事項について（通知）

「心・血管疾患及び脳血管疾患の公務上の災害の認定について」（令和3年9月15日付け地基補第260号。以下「理事長通知」という。）の実施及び公務起因性の判断のための調査事項については、下記の事項に留意の上、その実施に遺漏のないよう取り扱ってください。

なお、「心・血管疾患及び脳血管疾患の公務上災害の認定について」の実施及び公務起因性判断のための調査事項について」（平成13年12月12日地基補第240号）は、廃止するので了知してください。

記

理事長通知第1の2について

「症状が顕在化する」とは、自覚症状・他覚症状（前駆症状又は警告症状を含む。）が明らかに認められることをいいます。

理事長通知第2について

負傷に起因する心・血管疾患及び脳血管疾患については、「公務上の災害の認定基準について」（平成15年9月24日地基補第153号）の2(1)により認定します。

理事長通知第3の1について

長期間の業務上の負荷の評価に当たっては、疲労の蓄積に加え、発症に近接した時期における急性の負荷とあいまって発症する場合があることから、発症に近接した時期に一定の業務上の負荷が認められる場合は、それらの発症に近接した時期の負荷についても総合的に評価することが必要です。

理事長通知第4の2について

時間外勤務については、発症日から起算して概ね半年間（特別の事情があると認められる場合には概ね1年間）における時間外勤務の状況（時間数、内容

及び根拠等）を日ごとに調査し、週当たりの平均時間数を算出します。

また、疲労の蓄積の最も重要な要因である勤務時間に着目すると、その時間が長いほど、精神的、肉体的過重性が増加します。

具体的には、発症日から起算して1週間単位の連続した期間ごとに、発症前概ね半年間（特別の事情があると認められる場合には概ね1年間）にわたって、1週当たり平均概ね10時間程度を超える時間外勤務が認められない場合には、職務と発症との関連性が弱い、平均概ね10時間程度を超えて時間外勤務が長くなるほど、職務と発症との関連性が徐々に強まると評価できます。

なお、ここでいう時間外勤務時間数は、1日当たり平均概ね8時間（1週当たり平均概ね40時間）を超える勤務時間数です。

また、勤務を要しない日（以下「休日等」という。）の勤務が連続して長く続くほど職務と発症との関連性をより強めるものであり、逆に、休日等が十分確保されている場合には、疲労は回復するものであることに留意してください。

理事長通知第4の2(1)について

発症直前から前日までの間に特に過度の長時間勤務が認められる場合や発症前概ね1週間に連続して深夜時間帯に及ぶ時間外勤務を行うなど過度の長時間勤務が認められる場合等（待機時間が長いなど特に勤務密度が低い場合を除く。）には、職務と発症との関連性が強いと評価できます。

理事長通知第4の3について

職務と発症との関連性については、一定の勤務時間以外の負荷が認められる場合には、勤務時間の状況も総合的に考慮して、職務と発症との関連性を評価することが必要であり、勤務時間のみで職務と発症との関連性が強いと認められる水準には至らないがこれに近い時間外勤務が認められ、これに加えて一定の勤務時間以外の負荷が認められるときは、職務と発症との関連性が強いと評価できます。

理事長通知第4の3(3)について

「勤務間インターバル」とは、終業から始業までの時間をいいます。

また、「不規則な勤務・交替制勤務・深夜勤務」については、予定された業務日程の変更の頻度・程度・事前の通知状況、予定された業務日程の変更の予測の度合、交替制勤務における予定された始業・終業時刻のばらつきの程度、勤務のため夜間に十分な睡眠が取れない程度、一勤務の長さ、一勤務中の休憩の時間数及び回数、休憩・仮眠施設の状況、業務内容及びその変更の程度等の観点から検討し、その負荷を評価することとします。

理事長通知第4の3(5)について

「精神的又は肉体的負荷を伴う職務への従事状況」とは、例えば次に掲げる

職務従事状況等です。

- (ア) 責任者として連続して行う困難な対外折衝又は重大な決断を強いられる職務従事状況
- (イ) 機構・組織等の改革、人事異動等による急激かつ著しい職務内容の変化等の状況
- (ウ) 極度のあつれきを生じさせるような職場の人間関係の著しい悪化の状況
- (エ) 重大な不祥事又は事故等の発生への対処等の職務従事状況
- (オ) 重大犯罪の捜査又は大規模火災の鎮圧等危険環境下又は緊急事態下における職務従事状況
- (カ) 職務に関連してひどい嫌がらせ、いじめ又は暴行を執拗に受けたと認められる状況

理事長通知第5について

発症の基礎となる素因・基礎疾患等を有しているが、通常の日常の職務の遂行に特に支障がない職員のうち、医師による直接の検査や治療が必要と診断されたにもかかわらず、適切な検査や治療を受けることを放置している者は、適切な検査や治療を受けている者と比較すると、対象疾患を発症する可能性が極めて高いので、その病態等について詳細な調査結果に基づいた医学的見地からの鑑別を行う必要があります。

なお、「生活習慣病」とは、高血圧症、糖尿病、脂質異常症及び肥満等であり、「生活的要因」とは、運動習慣、食生活習慣、趣味、喫煙・飲酒などの嗜好、睡眠・休養不足、生活環境及び家族内における役割等です。

理事長通知第6の1について

過重負荷を受けたことにより発症したとして被災職員等から請求のあった対象疾患以外の循環器系の疾患に係る認定請求事案については、速やかに当職に別添3の「心・血管疾患及び脳血管疾患に係る認定請求事案報告書」により報告の上、その取扱いを相談してください。

理事長通知第7について

対象疾患の公務上外の認定に当たっては、別添1の「心・血管疾患及び脳血管疾患の公務起因性の判断のための調査事項」により、適正かつ迅速な調査を図るよう配慮してください。

その際、認定請求後速やかに必要な資料収集、調査を行うことが極めて重要であるため、別添2の「心・血管疾患及び脳血管疾患の認定調査票」を活用し、被災職員の任命権者（地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第2条第1項に規定する地方独立行政法人の職員にあっては、当該地方独立行政法人の理事長）と十分に連絡を取り、事務に遺漏のないように取り扱ってください。

なお、認定請求があった場合には、速やかに当職に別添3の「心・血管疾患

及び脳血管疾患に係る認定請求事案報告書」により報告してください。

以 上

別 添 1

心・血管疾患及び脳血管疾患の公務起因性の判断 のための調査事項

1 一般的事項

- (1) 被災職員の氏名、性別、生年月日及び発症時の年齢
- (2) 所属名、職名及び職種
- (3) 所属の組織図又は機構図（別添No. のとおり）
- (4) 被災時の所属の人員配置及び上司、同僚、部下等の病休、欠員等の状況（別添No. のとおり）
- (5) 人事記録（別添No. のとおり）
- (6) 勤務形態
 - ア 勤務時間、休憩時間及び休息時間
 - イ 週所定勤務時間数
 - ウ 交替制勤務の内容

交替制勤務の場合は、シフトごとの勤務時間、休憩時間及び仮眠時間帯等（勤務割表及び仮眠時間割当表等は、別添No. のとおり）
- (7) 被災職員の所属する組織全体の業務及び分担状況（別添No. のとおり）

2 災害発生の状況

- (1) 災害発生の概況（発生日時、疾病名、場所及び療養状況等）
- (2) 災害発生現場の見取図又は写真（別添No. のとおり）
- (3) 異常な出来事・突発的事態
 - ア 重大な犯罪、異常な自然現象、火災等異常な状態に遭遇したことの有無及びその詳細（消防署、気象官署等の証明、目撃者の証言等は、別添No. のとおり）
 - イ 日常は肉体的労働を行わない職員が特別な事態の発生により過重な肉体的労働に従事したことの有無及びその詳細（別添No. のとおり）
 - ウ 暴風、豪雪、猛暑等異常な気象条件下で職務に従事したことの有無及びその詳細（気象官署等の証明は、別添No. のとおり）
 - エ 極度の緊張、興奮、恐怖、驚がく等の強度の精神的負荷を引き起こす事態に遭

遇したことの有無及びその詳細（別添No. のとおり）

オ 急激で著しい肉体的負荷を強いられる事態又は急激で著しい作業環境の変化の下で職務に従事したことの有無及びその詳細（別添No. のとおり）

3 災害発生前の職務従事状況及び生活状況等

(1) 通常の日常の職務内容

これは、職務の過重性の評価に当たり基準となるものなので、職務内容・遂行状況等（業務・作業内容等を含む。）についても、具体的かつ詳細に調査してください。（別添No. のとおり）

(2) 発症前の職務内容（通常の日常の職務内容との相違の有無及び比較を含む。）

ア 発症前日から発症当日までの職務内容

イ 発症前1週間の職務内容

ウ 発症前1か月間の職務内容

エ 発症前概ね半年間程度の職務内容

(3) 発症前日から直前までの職務従事状況及び発症状況の詳細

発症に最も密接な関連を有する業務は、発症直前から前日までの間の業務であるので、職務内容、業務量、作業環境、身体の状態、就業中以外の状況及び異常な出来事・突発的事態に遭遇している場合にあっては、その状況を発症するまで時間を追って詳細に調査してください。（別添No. のとおり）

(4) 発症当日から遡り過重な職務が続いていると認められる時点までの職務従事状況及び生活状況の詳細

以下の事項に留意して、別添2の別紙1「発症前1か月間の職務従事状況・生活状況調査票」及び別紙2「発症前1か月を超える期間の職務従事状況・生活状況調査票」に記入してください。

その際、過重な職務が連続していると認められる時点まで1日ごとに遡り、時系列的に正規の勤務時間内の職務従事状況、正規の勤務時間外の勤務の状況及びその後の生活状況を記入してください。また、必ずそれぞれの事項を証明できる資料を添付してください。

ア 出勤時刻

イ 職務従事状況

(ア) 交替制勤務職員の深夜勤務中の出勤状況、仮眠時間数の減少等の状況（業務日誌等の各種管理簿等は、別添No. のとおり）

(イ) 著しい騒音、寒暖差、寒冷、暑熱等の勤務環境の状況（別添No. のとおり）

(ウ) 勤務時間が不規則な職務への従事状況（緊急呼出の状況、連続勤務の状況、勤務間インターバルの状況、拘束時間の状況、予定された業務日程・内容の変更の頻度・程度、事前の通知状況及び予測の度合い、休憩・仮眠施設の状況等を証明する各種管理簿等は、別添No. のとおり）

(エ) 頻回出張、時差を伴う出張等の勤務公署外における移動を伴う職務への従事状況（出張命令簿等の各種管理簿等は、別添No. のとおり）

(オ) 精神的又は肉体的負荷を伴う職務への従事状況。なお、調査に当たっては、「精神疾患等の公務災害の認定について」の実施について」（平成24年3月16日地基補第62号）の別表「業務負荷の分析表」の出来事例、業務例も参考にすること。（関係者の証言、警察署・消防署・気象官署等の証明、業務日誌等の各種管理簿等は、別添No. のとおり）

ウ 休憩・休息時間

エ 退勤時刻（時間外勤務命令簿等の各種管理簿、関係者の証言、日記又はメモ等は、別添No. のとおり）

オ 帰宅時刻

カ 就寝までの生活状況

キ 就寝時刻

ク 休日等の生活状況

ケ 時間外勤務等の状況

時間外勤務等の状況については、時間外勤務命令簿、時間外勤務報告書等により確認しますが、時間外勤務等を記録しない職員等については、退庁記録、上司、同僚、部下等の証言、現認書等の資料により、時間外勤務等の実績を明確に確認してください。（時間外勤務命令簿等の各種管理簿、関係者の証言、日記又はメモ等は、別添No. のとおり）

(ア) 時間外勤務の職務内容及び時間数

(イ) 勤務を要しない日の勤務の職務内容及び時間数

コ 自宅等で作業を行ったとする場合の当該作業の状況

自宅等での作業については、当該作業の内容、時間数及び根拠を調査してください。その際、自宅等で作業せざるを得ない事情（緊急性、必要性等）及び具体的な成果物について確認してください。（自宅等での作業の内容・時間数及び根拠、自宅等で作業せざるを得なかった理由書、論文リスト・報告書等は、別添No. のとおり）

サ 宿日直勤務の状況

シ 休暇等の取得状況（出勤簿、休暇簿等は、別添No. のとおり）

（ア）年次有給休暇

（イ）特別休暇等

（ウ）病気休暇

（エ）欠勤

（オ）その他、休職、職務専念義務の免除

（5）通勤の経路、方法、時間等（通勤届は、別添No. のとおり）

4 被災職員の身体状況に関する事項

（1）健康診断結果

ア 定期健康診断（過去5年間）の結果の写し、指導区分及び事後措置の内容
（別添No. のとおり）

イ 人間ドック（過去5年間）の診断結果の写し（別添No. のとおり）

（2）心・血管疾患及び脳血管疾患に係る既往歴

ア 疾病名

イ 医療機関名

ウ 治療状況

（3）心・血管疾患及び脳血管疾患に係る素因・基礎疾患の状況

ア 主治医の所見（別添No. のとおり）

イ 医学的資料（別添No. のとおり）

（ア）診断書

（イ）診療録又は診療要約

（ウ）血圧検査、脈波伝播速度検査、血液生化学検査等諸臨床検査、心電図検査、超音波検査、X線写真、心血管・冠動脈造影、CT、MRI、シンチグラフィ等

画像検査等

(4) 祖父母、両親、兄弟等の家族の健康状況等（別添No. のとおり）

(5) 発症前の趣味、嗜好等の状況

ア 趣味、スポーツ等

イ 嗜好品（タバコ、酒等）及びその程度

ウ 薬の服用の状況（高血圧症、動脈硬化症、高脂血症等に係る薬剤名等）

エ 自動車の保有、発症前の運転の状況等

5 発症前の被災職員の前駆症状又は警告症状の有無及びその詳細

6 発症後の医師の所見等

(1) 本件疾病に係る主治医の所見（別添No. のとおり）

(2) 本件疾病に係る医学的資料（別添No. のとおり）

ア 診断書・意見

イ 死亡診断書（死体検案書）・解剖所見

ウ 診療録又は診療要約

エ 血圧検査、脈波伝播速度検査、血液生化学検査等諸臨床検査、心電図検査、超音波検査、X線写真、心血管・冠動脈造影、CT、MRI、シンチグラフィー等画像検査等

(3) 発症後の療養経過

療養内容・期間（入院、通院別）、医療機関名、現況

7 支部専門医の所見

8 その他の事項

(1) 発症時の事務室、勤務場所の見取図、写真等及び騒音、照度等の職場環境（別添No. のとおり）

(2) 発症日の気象（勤務場所における天候、気温、湿度、風速等）

(3) その他認定に際し、必要と思われる事項（別添No. のとおり）

別添 2

心・血管疾患及び脳血管疾患の認定調査票

1 一般的事項			
氏 名：		(男・女)	年 月 日生 (発症時 歳)
所属名・職名			
職 種： ☐ 事務職員 ☐ 技術職員 ☐ 教員 ☐ 警察官 ☐ 消防吏員 ☐ 看護師 ☐ その他 ()			
所属の組織図又は機構図 (別添No. のとおり)			
被災時の所属の人員配置及び上司、同僚、部下等の病休、欠員等の状況 (別添No. のとおり)			
人事記録 (別添No. のとおり)			
勤務形態： ☐ 交替制勤務 ☐ それ以外			
ア 勤務時間、休憩時間及び休息時間			
(勤務時間) (休憩時間) (休息時間)			
平日.....:			
その他(.....):			
イ 週所定勤務時間数:.....時間.....分			
ウ 交替制勤務の内容			
シフトごとの勤務時間、休憩時間及び仮眠時間帯等 (勤務割表及び仮眠時間割当表等は、別添No. のとおり)			
被災職員の所属する組織全体の業務及び分担状況 (別添No. のとおり)			
2 災害発生の状況			
① 災害発生の概況			
発 生 日 時:.....年 月 日 時 分頃			
疾 病 名:.....			
場.....所:.....			
療養状況等:.....			
② 災害発生現場の見取図又は写真: (別添No. のとおり)			
③ 異常な出来事・突発的事態			
ア 重大な犯罪、異常な自然現象、火災等異常な状態に遭遇したことの有無及びその詳細			
☐ 有 (詳細及び消防署、気象官署等の証明、目撃者の証言等は、別添No. のとおり)			
☐ 無			
イ 日常は肉体的労働を行わない職員が特別な事態の発生により過重な肉体的労働に従事したことの有無及びその詳細			
☐ 有 (詳細は、別添No. のとおり) ☐ 無			

	ウ 暴風、豪雪、猛暑等異常な気象条件下で職務に従事したことの有無及びその詳細 ☐ 有（詳細及び気象官署等の証明は、別添No. のとおり） ☐ 無
	エ 極度の緊張、興奮、恐怖、驚がく等の強度の精神的負荷を引き起こす事態に遭遇したことの有無及びその詳細 ☐ 有（詳細は、別添No. のとおり） ☐ 無
	オ 急激で著しい肉体的負荷を強いられる事態又は急激で著しい作業環境の変化の下で職務に従事したことの有無及びその詳細 ☐ 有（詳細は、別添No. のとおり） ☐ 無
3 災害発生前の職務従事状況及び生活状況等	
① 通常の日常の職務内容（詳細は、別添No. のとおり）	
② 発症前の職務内容（通常の日常の職務内容との相違の有無及び比較を含む。）	
ア 発症前日から発症当日までの職務内容 （上記①との比較（職務内容、業務量等）： ☐ 変化有 ☐ 変化無） （変化有の場合、その内容）	
イ 発症前1週間の職務内容 （上記①との比較（職務内容、業務量等）： ☐ 変化有 ☐ 変化無） （変化有の場合、その内容）	
ウ 発症前1か月間の職務内容 （上記①との比較（職務内容、業務量等）： ☐ 変化有 ☐ 変化無） （変化有の場合、その内容）	

	エ 発症前概ね半年間程度の職務内容 (上記①との比較(職務内容、業務量等) : ☐変化有 ☐変化無) (変化有の場合、その内容)
	③ 発症前日から直前までの職務従事状況及び発症状況の詳細(別添No. のとおり)
	④ 発症当日から遡り過重な職務が続いていると認められる時点までの職務従事状況及び生活状況の詳細(発症前1か月間は別紙1、発症前1か月を超える期間は別紙2のとおり)
	⑤ 通勤の経路、方法、時間等(通勤届は、別添No. のとおり)
4 被災職員の身体状況に関する事項	
① 健康診断結果	
	ア 定期健康診断(過去5年間)の結果の写し、指導区分及び事後措置の内容 (別添No. のとおり)
	イ 人間ドック(過去5年間)の診断結果の写し(別添No. のとおり)
② 心・血管疾患及び脳血管疾患に係る既往歴	
	☐有(以下にその内容を記入) ☐無 ア 疾病名..... イ 医療機関名..... ウ 治療状況.....
③ 素因・基礎疾患の状況	
	ア 主治医の所見(別添No. のとおり) イ 医学的資料(別添No. のとおり) (ア) 診断書 (イ) 診療録又は診療要約 (ウ) 血圧検査、脈波伝播速度検査、血液生化学検査等諸臨床検査、心電図検査、超音波検査、X線写真、心血管・冠動脈造影、CT、MRI、シンチグラフィー等画像検査等
	④ 祖父母、両親、兄弟等の家族の健康状況等(別添No. のとおり)
⑤ 発症前の趣味、し好等の状況	
	ア 趣味、スポーツ等 ☐有(内容) ☐無

	イ し好品の状況 □タバコ(本/日)□飲酒(□日本酒(合/日)□ビール(本/日) □洋酒(杯/日))□コーヒー(杯/日)
	ウ 薬の服用状況(高血圧症、動脈硬化症、高脂血症等に係る薬剤名等) □有(薬剤名 服用頻度・量) □無
	エ 自動車の保有、発症前の運転の状況等 □有(週 日運転) □無
5 発症前の被災職員の前駆症状又は警告症状の有無及びその詳細 □有(以下にその詳細を記入) □無	
① 証言者:.....日時:.....場所:..... 内 容:..... ② 証言者:.....日時:.....場所:..... 内 容:.....	
6 発症後の医師の所見等	
① 主治医の所見(別添No. のとおり)	
② 医学的資料(別添No. のとおり) ア 診断書・意見 イ 死亡診断書(死体検案書)・解剖所見 ウ 診療録又は診療要約 エ 血圧検査、脈波伝播速度検査、血液生化学検査等諸臨床検査、心電図検査、超音波検査、X線写真、心血管・冠動脈造影、CT、MRI、シンチグラフィー等画像検査等	
③ 発症後の療養経過 : □死亡 □療養中(その状況を以下に記入) □職場復帰 療養内容..... 療養期間(入院、通院別)..... 医療機関名..... 現況.....	
7 支部専門医の所見	
8 その他の事項	
① 発症時の事務室、勤務場所の見取図、写真等及び騒音、照度等の職場環境(別添No. のとおり)	
② 発症日の気象(勤務場所における天候、気温、湿度、風速等)	
③ その他認定に際し、必要と思われる事項(別添No. のとおり)	

9 添付を要する資料の一覧（例示）

- ☐①所属の組織図又は機構図
- ☐②被災時の所属の人員配置及び上司、同僚、部下等の病休、欠員等の状況
- ☐③人事記録
- ☐④勤務割表及び仮眠時間割当表等（交替制勤務の場合）
- ☐⑤被災職員の所属する組織全体の業務及び分担状況
- ☐⑥災害発生現場の見取図又は写真
- ☐⑦重大な犯罪、異常な自然現象、火災等異常な状態に遭遇したことに係る資料（消防署、気象官署等の証明、目撃者の証言等）
- ☐⑧日常は肉体的労働を行わない職員が特別な事態の発生により過重な肉体的労働に従事したことに関する資料
- ☐⑨暴風、豪雪、猛暑等異常な気象条件下で職務に従事したことに関する資料（気象官署等の証明）
- ☐⑩極度の緊張、興奮、恐怖、驚がく等の強度の精神的負荷を引き起こす事態に遭遇したことに関する資料
- ☐⑪急激で著しい肉体的負荷を強いられる事態又は急激で著しい作業環境の変化の下で職務に従事したことに関する資料
- ☐⑫通常の日常の職務内容の詳細
- ☐⑬発症前日から直前までの職務従事状況及び発症状況の詳細
- ☐⑭交替制勤務職員の深夜勤務中の出勤状況、仮眠時間数の減少等の状況に関する資料
- ☐⑮著しい騒音、寒暖差、寒冷、暑熱等の勤務環境の状況に関する資料
- ☐⑯勤務時間が不規則な職務への従事状況に関する資料
- ☐⑰頻回出張、時差を伴う出張等の勤務公署外における移動を伴う職務への従事状況に関する資料
- ☐⑱精神的又は肉体的負荷を伴う職務への従事状況に関する資料
- ☐⑲退勤時刻に関する資料（時間外勤務命令簿等の各種管理簿、関係者の証言、日記又はメモ等）
- ☐⑳時間外勤務等の状況に関する資料（時間外勤務命令簿等の各種管理簿、関係者の証言、日記又はメモ等）
- ☐㉑自宅等で作業を行ったとする場合の当該作業の状況に関する資料（自宅等での作業の内容・時間数及び根拠、自宅等で作業せざるを得なかった理由書、論文リスト・報告書等）
- ☐㉒出勤簿、休暇簿等
- ☐㉓通勤届
- ☐㉔定期健康診断の結果等
- ☐㉕人間ドックの結果
- ☐㉖既往歴、素因・基礎疾患に関する主治医の所見
- ☐㉗既往歴、素因・基礎疾患に関する医学的資料
- ☐㉘祖父母、両親、兄弟等の家族の健康状況等に関する資料
- ☐㉙本件疾病に係る主治医の所見
- ☐㉚本件疾病に係る医学的資料
- ☐㉛発症時の事務室等の状況及び職場環境に関する資料
- ☐㉜その他認定に際し、必要と思われる事項に関する資料

作 成 年 月 日

年 月 日

作成者所属・職名

作 成 者 氏 名

別紙 1

発症前 1 か月間の職務従事状況・生活状況調査票

[illegible]

別紙 2

発症前 1 か月を超える期間の職務従事状況・生活状況調査票

年月日（曜）	勤 務 の 概 況					生活状況	時間外勤務時間数等
	出勤時刻	午 前	午 後	正規の勤務時間終了時刻以降	退勤時刻		

※「時間外勤務時間数等」欄には、時間外勤務時間数のほか、準夜・深夜勤務、休日勤務、交替制勤務、宿日直勤務、出張等の内容等を記入してください。
また、予定された職務が不規則な状況となった場合等についてもその旨記入してください。

別添 3

心・血管疾患及び脳血管疾患に係る認定請求事案報告書

報告日：_____年　　月　　日
担当者：_____

支部名	支部
請求年月日	年　　月　　日
請求者氏名及び被災職員との続柄	氏名：被災職員との続柄：
被災職員氏名及び生年月日	氏名：年　　月　　日生（　　歳）
所属団体	
所属部局・課・係名	
災害発生年月日	年　　月　　日（　　）
疾病名	
災害の概要	

（注）認定請求書が提出され次第、本報告書を提出してください。
なお、その際には認定請求書の写しを必ず添付してください。